

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称:

菊電照用器材のLED化

排出削減事業者名: 一般社団法人エコアース

排出削減事業共同実施者名: 丸紅株式会社

その他関連事業者名: 株式会社プレnty

目次

- 1 排出削減事業者の情報
- 2 排出削減事業概要
 - 2.1 排出削減事業の名称
 - 2.2 排出削減事業の目的
 - 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法
 - 2.4 国内クレジット認証要件の確認
 - 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目
- 3 排出削減量活動期間
 - 3.1 プロジェクト開始日
 - 3.2 モニタリング対象期間
- 4 温室効果ガス排出削減量の算定
 - 4.1 採用した排出削減方法論の情報
 - 4.2 活動量
 - 4.2.1 活動量・原単位
 - 4.2.2 活動量の採用根拠
 - 4.3 事業の範囲(バウンダリー)
- 5 モニタリング対象指標
- 6 モニタリング体制
 - 6.2 モニタリング対象のQA/QC
- 7 排出削減量の計算
 - 7.1 事業実施後排出量
 - 7.2 ベースライン排出量
 - 7.3 リークエージ排出量
 - 7.4 温室効果ガス排出削減量
- 8 省エネルギー量の予測
- 9 再生可能エネルギー利用量

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	一般社団法人エコアース
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	農事組合法人アツミシーサイドフローラル
住所	愛知県田原市保美町坂井戸135
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市村松町北郷中35
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市八王子町道上21
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市八王子町川向65
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市中山町八軒屋26
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市堀切町瀬古畑146
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市中山町兼原郷205
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市中山町兼原郷108-1
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市中山町成美79
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市中山町三角52
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市福江町蓼池1

排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市福江町今ノ田上1-5
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県豊橋市野依町南郷37-1
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県豊橋市老津町池上219
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市赤羽根町西57
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市小中山町北浜新田2-9
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市小中山町北浜新田3-9
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市越戸町山下588
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市村松町北郷中5
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市高木町脇荒子4-1
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市若見町権極地48
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市保見町中屋敷11
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市池尻町上り世古61

排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市中山町大番場16
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	〇〇農場
住所	愛知県田原市中山町寺脇169
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社
その他関連事業者(注)	
関連事業者名	株式会社プランティー

(注) その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

2 排出削減事業概要

2.1 排出削減事業の名称

菊電照用器材のLED化

2.2 排出削減事業の目的

従来の電照器材である白熱電球と比べ、消費電力が格段に抑制でき又、耐久性にすぐれているLEDライトを導入することによりCO2排出を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

消費電力が約1/20となりCO2の削減につながる

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

「排出削減事業計画 6.4 ベースライン排出量の算定」における電力の炭素排出係数

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年 4月 1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2009年 4月 1日 ~ 2010年 3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
006	照明設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
消費電力	点灯時間	KWh

4.2.2 活動量の採用根拠

適用する方法論006の規定に基づく。

4.3 事業の範囲(バウンダリー)

本事業の一般社団法人エコアースの菊栽培における花芽開花抑制の照明を行う設備(電球)で、会員農家が所有する51,472坪の温室・ハウス内の電照機器。対象設備については「2.6排出削減事業に係わる設備」に示す。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合)変更理由
1	排出削減事業実施前の電力使用量の原単位	kW	1894.6	カタログ値×個数	
2	排出削減事業実施後の電力使用量の原単位	kW	1141.1	カタログ値をもとに算出	
3	排出削減事業実施後の電力使用量の原単位年間活動量	h/年	651	電照時間のタイマー設定を作業日報に記録	
4	電力の炭素排出係数	t-c/kWh	0.00015 (2009.4.1~2010.3.31) 0.0001181 (2010.4.1~2011.9.30) 0.0000862 (2011.10.1~2011.9.30)	デフォルト値	方法論006の規定に基づく

6 モニタリング体制

6.2 モニタリング対象指標のQA/QC

データの種類	QA/QC手順
活動量	
	電照時間(タイマーの設定)の記録をマニュアル化し、各農家に周知徹底
単位発熱量	
	国内クレジット制度方法論に公表されている単位発熱量最新値を使用
排出係数	
	デフォルト値の確認を行う

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

限界電源 ($0 \leq t < 1$ 年)			
活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
742,856.1KWh	—	0.00015tc/KWh	408.5CO2t
EMPJ=742,856.1KWh × 0.00015tc/KWh × 44 ÷ 12=408.5CO2t			

7.2 ベースライン排出量

限界電源 ($0 \leq t < 1$ 年)			
活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
1,233,384.6KWh	—	0.00015tc/KWh	678.3CO2t
EMBL=1,233,384.6KWh × 0.00015tc/KWh × 44 ÷ 12=678.3CO2t			

7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
該当なし			
LE			0CO2t

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EMBL	678.3CO2t
事業実施後排出量 (7.1)	EMpj	408.5CO2t
リークージ排出量 (7.3)	LE	0CO2t
温室効果ガス排出削減量	ER	269CO2t

8 省エネルギー量

原油換算		
ベースライン(①)	実績(②)	ベースライン-実績 (①-②)
310.6KL	186.3KL	124.3KL

9 再生可能エネルギー利用量

	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算(GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)